

●教育學術研究會 高等師範學校教授大瀨甚太郎氏、指導の下に新に表題の會は創立せられたるものにして、從來の雜誌教育學術界を以て之が機關とし大に斯道の爲に盡さるべしとのことなり、尙會則等は次號に紹介することあるべし。

新刊紹介

●泰西名婦傳 全一冊 永山盛良編

近世西洋女流の名家の或は畫家として教育家として慈善家として學者として記者として各方面に成效せる八人の小傳を編みて一小冊子となせるもの、吾人は今日の時勢に於て、かゝる必讀の良書の出でたるを喜ぶ。(定價三十錢、神田區表神保町、四 勢陽堂書房)

●姫百合 第三卷 第四

本號には栗島氏の享保文學と有徳公は未だ完結するに至らず學術には枕草紙保元物語等の評釋あり文苑詞藻等例によりて頗眼なり。(一冊十錢 同區北神保町三、姫百合社)

日本婦人 第三卷第三第四 帝國婦人協會
 第十七號 姫百合社

をんな 第三號

女學雜誌 第五百十四號

女子のとも 第八十八號

家庭 第四號

衛生談話 第三號

女鑑 第二廿七號

彰善會誌 第三十七號

哲學雜誌 第十六卷第百十七號

學生俱樂部 第一卷第一號

兒童研究 第三卷第九號

淨土教報 第五百七十五六七號

教育時論 第七號

東京市教育時報 第七卷第六七號

教育實驗界 第二號

婦女の友志美 第七十六號

山梨教育 第七十六號

上野教育會雜誌 第百六十二號

信濃教育會雜誌 第百七十四號

愛知教育會雜誌 第百六十八號

大分縣教育會雜誌 第百九十三號

越佐教育會雜誌 第九十九號

九州教育雜誌 第百六十七號

秋田縣教育會雜誌 第百五號

大日本女學會

女學雜誌社

東洋社

大日本佛敎婦人會

通俗衛生茶話會

國光社

彰善會

哲學雜誌社

育成會

教育研究所

淨土教報社

開發社

東京市教育會

育成會

成美社

山梨教育會

上野教育會

全會事務所

全會事務所

全會事務所

全會事務所

全雜誌社

秋田縣教育會

長崎縣教育雜誌 第五百五號
 三重縣私立教育會雜誌 第三十號
 よろづ報知 第九號
 婦女新聞

教 育 會
 全 會 事 務 所
 扶桑通信株式會社
 婦 女 新 聞 社



會 報

第 六 總 會

明治三十四年四月二十一日午後一時より女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會す其順序左の如し

(一)高嶺會長開會の辭を述べられ

- (二)中村主幹會務報告あり
 - (三)幹事半数改選に付投票をなし
 - (四)休憩此間に成績品縦覽
 - (五)町田則文君の幼兒の遊嬉に付ての演説及瀧山瑄氏の大坂愛珠幼稚園創立の際の實歴談あり
 - (六)餘興として盲啞學校生徒の筑前琵琶(大塔宮熊野落奈須與一)あり
 - (七)茶菓を供し隨意談話に移り遊嬉プロネードをなし
 - (八)保姆合唱の歌をうたひ
- 閉會したる時に午後五時三十分來會者は、三輪信太郎君、高島平三郎君、瀧山瑄君、大日本教育會長辻新次君、新編縣女子師範學校長廣瀨吉彌君、新潟縣第一師範學校長和田豐君、女子の友主筆石川正作君、教育實験界記者渡邊英一君、教育時論記者石川岩吉君、女鑑記者山岡良旗君、毎日新聞記者松本隆海君、本會々長高嶺秀夫君、女子高等師範學校本科四年生五名、同保姆練習科生八名、本會會員五十九名、同伴者數名なりき。